

神話スライド s e t シリーズ

おとめ座

スライド枚数 : 18枚
時間 : およそ7分から10分
イラスト : 高部 哲也
※ 音響テープあり

LIBRA CORPORATION



1. 昔々、神々がまだ人間と共に暮らしていた頃のことです。

人々に豊かな実りをもたらすのは、大地の女神デーメテル。

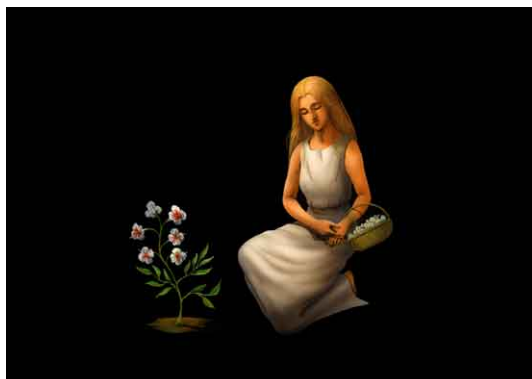
この世の命あるものは全て、デーメテルの恵みによるものでした。



2. デーメテルには、1人の美しい娘がおりました。その名はペルセフォネ。

デーメテルの大きな愛に包まれて育った

ペルセフォネは、人を疑うことを知らない、清らかな乙女でした。



3. ある日、草原へ出かけたペルセフォネは、足下に咲いた可憐な花に気がつき、しゃがんで摘もうとしました。

その時です。

+音変わり



4. 突然、足下の地面が割れ、真っ黒な馬車が
躍り出たのです。
そして、悲鳴を上げるまもなく、
ペルセフォネは馬車に乗せられ、地面の下へと
連れ去られてしまいました。

+音変わり



5. デーメテルは、いなくなった娘を必死で捜し回
りました。
しかし、どこを探しても娘の姿はありません。



6. やがて、デーメテルのもとに、黄泉の国の王ハー
デスが、地上から花嫁を連れてきたというわさ
が聞こえてきました。
まさしく、それは娘ペルセフォネのことだっ
たのです。



7. 娘を失った悲しみ、デーメテルは洞穴の奥深く、
閉じこもってしまいました。

+音変わり



8. デーメテルが姿を隠すと、地上はすっかり荒れ果ててしまいました。
花も咲かなければ、実がなることもありません。
食べ物はなくなり、人も動物もばたばたと死んでいきました。
この様子を見て、神々の王ゼウスは、地上のあまりの荒れように心を痛めました。
そして、ペルセフォネを母のもとへ返すよう、弟であるハーデスを諭したのです。

+音変わり



9. 最後に、ハーデスはこういいました。
P ペルセフォネよ。
ゼウスの命令とあらば、背くわけにはいかぬ。
おまえを地上に帰そう。
しかし、地上までは遠い道のりだ。
途中でのども渴くだろう。
このザクロの実を持ってお行き。
わしの愛情をことごとく拒んできたおまえだが、この最後の贈り物ぐらい、受け取っても良いだろう？



10. こうして、ペルセフォネは、地上へと戻れることになりました。
けれども、母に会える喜びでいっぱいのはずなのに、なぜかペルセフォネの気持ちはふさいでいました。
耳の奥に、あの別れの時のハーデスの寂しげな声が、いつまでもこだましていたのです。
PE わたしがいなくなれば、あの方は またひとりぼっち・・・。
暗い冷たい地面の下の国でいつまでも・・・。



11. ペルセフォネは、その手に、握りしめたザクロの冷たさを感じました。
PE この実は・・・、このザクロの実は、あの方の心そのもの。
冷たくて寂しい心そのもの・・・



1 2. そして、突然、ペルセフォネは立ち止まり、ザクロの実を3粒、口にしました。

+音変わり



1 3. 再び巡り会えた母と娘は、お互いを確かめるようにしっかりと抱き合いました。

その時、デーメテルは、娘の身体が小刻みにふるえているのを感じました。

そして、ペルセフォネの悲しい決心を聞いたのです。

+音変わり



1 4.”黄泉の国の食べ物を口にしたら、二度と地上の国へは戻れない”

この掟をペルセフォネが知らなかったはずはありません。

しかし、心優しいペルセフォネには、ハーデスを見捨てることは出来なかったのです。ペルセフォネの心にうたれたゼウスは、1年のうちザクロの実3粒分にあたる3か月の間だけ、黄泉の国で暮らすよう、ペルセフォネに命じました。



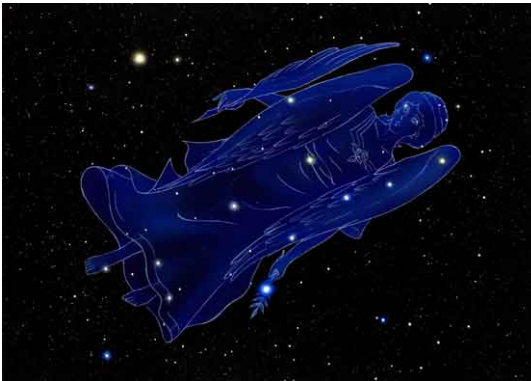
1 5. この3ヶ月、デーメテルは悲しみのあまり、洞穴で過ごします。

そして、その時期は、辛い冬の季節となったのです。



16. ペルセフォネが母と共に暮らし始めると再び地上には喜びの春が訪れます。その後二人は楽しい夏を過ごし、別れが近づけば寂しい秋となり・・・。

こうして、四季が始まりました。



17. おとめ座は、大地の女神デーメテルの姿とも、その娘、ペルセフォネの姿ともいわれます。おとめ座が、星空に姿を現す頃、地上には暖かい春がやってくるのです。